

2024 年度活動支援事業 信州 社会課題解決の担い手 ステップアップ事業
組織診断実施後の支援対象活動計画（詳細版）

作成：NPO 法人 子どもサポートチームすわ（支援対象団体）
信州社会事業応援ネットワーク（活動支援団体）

基本情報【公開】

支援対象団体名	NPO 法人 子どもサポートチームすわ
作成日	2026 年 3 月 31 日
支援期間	2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日
事務局担当者（コーディネーター）名	矢島久世（長野県みらい基金） 福島ゆかり（長野県みらい基金）
専門家名（支援分野）	・組織体制(業務改善) → 渡辺真子氏 ・財務戦略（ファンドレイジングプログラム） → 外部専門家予定 ・広報戦略（蓄積データ活用含） → 外部専門家検討中
参加予定の共通プログラム（オンラインで 1～3 時間程度の研修会を予定）	（以下から複数選択） ☒ ビジョン・ミッション ☒ 団体内コミュニケーション ☒ 中期計画の策定 ☒ 労務管理 ☒ 収支 ☒ ファンドレイジング ☒ 広報 ☒ 理事会 ☒ リスク管理

組織診断の実施【公開】

取り組み内容	時期
集合研修への参加（全 2 回）	2025 年 11 月、2026 年 1 月
組織診断チェックシートへの回答	2025 年 11 月～12 月
ステークホルダー意見の収集	2025 年 11 月～12 月
団体内ミーティング（全 2 回）	2025 年 12 月～2026 年 2 月
組織診断報告書の作成	2026 年 3 月

個別支援計画【公開】

「信州 社会課題解決の担い手 ステップアップ事業」における 2026 年度の成果目標
「子どもサポートチームすわ」の活動を将来にわたり継続していくため、スタッフと理事会の役割を整理し、組織・財務・広報の基盤を整えることで、地域に支えられる持続可能な団体運営を実現する。

	テーマ	取組内容	時期	支援
1	組織体制 (業務改善)	・スタッフの業務負担を軽減し持続可能な運営体制をつくるため、業務分担や意思決定の仕組みを整理するとともに、理事会の役割を見直す。そのために、第三者サポーターによるスタッフ個別面談を実施し、現在の業務内容や困りごとを整理する。その内容をもとに業務の棚卸しと「仕事の仕分け表」を作成し、担当の見える化と役割分担の再設計を行う。また組織図をベースに意思決定フローを整理し、会議体や決裁の仕組みを明確化する。 ・理事会の役割について専門家から学び、団体の次のステージに向けた理事会の機能（財務・ガバナンス等）の見直しを行う。 ・視察を通して、団体運営やフリースクールのあり方、フリースクール運営上の課題の共有などを行う（視察先候補：寺子屋TANQなど）	4月-6月 4月-6月 4月-6月 7月-9月 7月-9月 6月-9月 6月-9月 6月-9月	・スタッフの個別ヒアリング（8名）の実施、業務棚卸と課題整理、フィードバック会議の実施、進捗サポートを行う（5～7月：外部アドバイザーを派遣） ・共通プログラム（「理事会」）の提供（10月）、および団体内での見直しに対するアドバイス ・視察実施支援
2	財務基盤	安定的な団体運営のため、助成金・寄付・自主事業など複数の財源を組み合わせた財務基盤を構築する。 助成金・寄付・自主事業などの財源の複線化を検討する。財務戦略を策定後、助成金・寄付を中心に資金獲得にむけた整備を進める。特に、団体の歩みや活動実績を整理し、団体が生み出した価値を言語化し、冊子やホームページで発信できる形にまとめることで寄付や支援につながる基盤をつくる。	4月-6月 4月-6月 4月-12月 7月-9月 10月-12月	・共通プログラム（「収支」「ファンドレイジング」）の提供（8～9月） ・コーディネーターによる月1回の伴走支援を通じて、アドバイスや協力、進捗の確認などを行う ・団体のあゆみや活動実績の整理については、アドバイスを行う
3	広報	団体の活動や価値を社会に伝え、地域での認知向上と支援者拡大につなげるために、	5月-3月	・共通プログラム（「公法」）の提供（9月）

		現状のマnpワ-に合った広報戦略・手法や体制を整備する。 まずは、地域でのプレゼンスを高めるために専門家を招いた講演会を公開形式で地域で行う（講師候補：新見先生）	7月	・コーディネーターによる月1回の伴走支援を通じて、アドバイスや協力、進捗の確認などを行う ・講師派遣
--	--	---	----	--